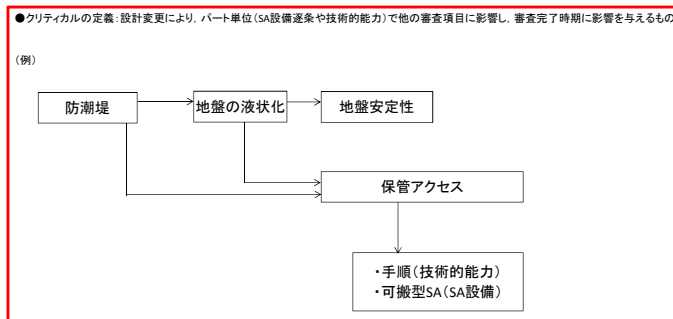




今後の審査の進捗、資料提出の状況により変更の可能性有り。

主要な審査項目	審査状況	審査会合実績回数 <sup>※1</sup>	審査会合至近実績	準備状況(%) <sup>※2</sup>	平成29年																												備考															
					10月					11月					12月					1月				2月				3月				4月				5月				6月				7月				
					2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7		14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30			
有効性評価	-原子炉格納容器限界温度・限界圧力	1回	H27.3.3	100																													格納容器破損防止と併せて説明															
	-炉心損傷防止	7回	H30.3.22																																													
	論点 全交流動力電源喪失時に速く安全弁開閉遅延が重要なる事故(TBP)時の対策について	0回	—	100																																												
	論点 中小破断LOCA時の破断面積について	0回	—																																													
	格納容器破損防止	4回	H28.9.15																																													
	格納容器下部への初期水張り水位の適切性について	0回	—																																													
	論点 シェルアタックを除外する理由について	0回	—	90																																												
	論点 コリウムシールドの設置について	0回	—																																													
	-使用可燃物貯蔵設備（使用可燃物貯蔵槽内の燃料損傷防止対策）	2回	H29.12.26	95																													炉心損傷防止と併せて説明															
	-停止時（運転停止中原子炉における燃料損傷防止対策）	2回	H30.2.8	100																																												
-シーケンス選定(PRA)	9回	H30.2.8																														Seハザード評価と併せて説明																
論点 保護レベル1PRAより抽出したシーケンスグループ	2回	H30.2.8	95																																													
-解析コード	(BWR電力会社共同でご説明済)	4回	H27.10.15																																													
設備・手順	-SA共通																																															
	重大事故等対処設備他(43条他)	0回	—	100																													関連:有効性評価															
	保管アクセス(43条他)	1回	H28.11.18	90																													関連:新審査「地盤の液状化」新たに設定したSAに対する評価反映のため															
	論点 周辺斜面の安定解析について	0回	—																																													
	共通事項(1.0)	0回	—	95																													先行プラント審査による評価を反映のため															
	-SA設備逐条(44条～59条)	9回	H29.12.26	90																													関連:43条保管アクセス、有効性評価 柏崎刈羽6・7号炉の技術的知見等反映のため															
	論点 止水用ヘッジの運用について	1回	H29.12.26																																													
	-SA設備逐条(60条～62条)	4回	H30.3.6	90																													保管場所見直しに伴う評価反映のため															
	-技術的能力(1.1～1.19)	0回	—	95																													関連:43条保管アクセス 先行プラント審査による評価を反映のため															
	-技術的能力(2.1)	0回	—	80																													関連:DB、SA審査全般 関連審査および先行プラント審査による評価を反映のため															
新たな規制項目への対応	有毒ガス防護に係る対応	0回	—																														原子炉制御室・緊急時対策所の居住性として示す															
	火山影響等発生時の体制整備等に係る措置	0回	—																																													
	地震時の燃料被覆管閉じ込め機能	0回	—																																													
	格納容器の過圧破損を防止するための格納容器代替循環冷却系	0回	—																														関連:有効性評価															
	使用済み燃料貯蔵槽から発生する水蒸気による影響を防止するための対策	0回	—																																													
	原子炉制御室の居住性を確保するためのフローアウト/レベルの閉止機能	0回	—																														原子炉制御室又は炉心損傷防止(IS/LOCA)と併せて説明															
	全交流動力電源喪失を想定した事故シーケンスの分離	0回	—																																													
添付書類5「技術的能力」	0回	—																														体制・教育・有資格者数を説明																

※1 平成26年1月から本審査会合までの実績  
 ※2 実施中の評価、先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定



# 女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール（耐震関係）

別紙1

平成30年4月17日  
東北電力株式会社

標準状況 (%) <sup>※1</sup>	平成29年度												平成30年度												備考					
	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月				6月			7月	
耐震設計方針 (第4.39条)																														[凡例] <span style="background-color: yellow;"> </span> : 審査会を実施中の項目 <span style="background-color: lightgray;"> </span> : これまで審査会を実施していない項目 <span style="border: 1px solid red;"> </span> : クリティカルパスとなる項目 <span style="border: 1px solid blue;"> </span> : 審査会希望時期 <span style="border: 1px solid purple;"> </span> : 追加修正希望時期
① 基準適合 (共通)																														各論点、各条文中の審査の反映
第4条:地震による損傷の防止																														動的機能保持に係る技術基準解釈等の改訂の反映
1	本文	90%																											各条文中に係る審査の反映 SA設置審査の反映	
2	設計用地震力	100%																											先行プラントの審査状況を踏まえ体系的整理	
3	動的機能維持の評価	85%																											動的機能保持に係る技術基準解釈等の改訂の反映	
4	弾性設計用地震動Sd・静的地震力による評価	100%																											先行プラントの審査状況を踏まえ体系的整理	
5	上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討	90%																											先行プラントの審査状況を踏まえ体系的整理	
6	水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針	85%																											先行プラントの審査状況を踏まえ体系的整理	
7	屋外重要土木構造物の耐震評価における耐震選定の考え方	80%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	
第9条:地震による損傷の防止																														SA設置審査の反映
1	本文	90%																											SA設置審査の反映	
2	重大事故等対応施設の種類分類	85%																											SA設置審査の反映	
3	設計用地震力	90%																											SA設置審査の反映	
4	重大事故等対応施設の基本構造等に基づく既性の耐震評価手法の適用性と評価方針	85%																											SA設置審査の反映	
5	重大事故等対応施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せ	95%																											有効性評価審査の反映	
② 論点「既工区との差異(建物・構築物)」																														健全の初期剛性低下の要因分析等の詳細工程を見直し
1 東北地方太平洋沖地震等による影響を踏まえた建築耐震設計手法への反映																														初期剛性低下の要因確定後、設計体系に記込み
1	初期剛性低下の傾向と要因分析	90%																											初期剛性低下の要因確定後、設計体系に記込み	
2	初期剛性低下の要因を踏まえた地震応答解析モデルの策定	90%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	
3	設備への影響検討	80%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	
4	設計体系に反映すべき事項	80%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	
2 建築地震応答解析における入力地震動の算定																														新たに設定した基準地震動に対する評価反映
1	弾塑性解析の適用	100%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	
3 弾塑性解析の適用																														新たに設定した基準地震動に対する評価反映
1	応力解析モデル(建物・構築物)への弾塑性解析の適用	80%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	
2	原子炉建屋棟トラスの解析モデルへの弾塑性解析の適用	80%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	
③ 論点「既工区との差異(屋外重要土木構築物)」																														新たに設定した基準地震動に対する評価反映
1 解析手法の精緻化																														ヒアリングを踏まえて繰り再整理
1	時刻応答解析の適用	90%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	
2	境界状態設計法の適用	90%																											ヒアリングを踏まえて繰り再整理	
2 解析モデルの精緻化																														新たに設定した基準地震動に対する評価反映
1	3次元非線形モデルの適用	90%																											関連:耐震さしき骨格補強ネット ヒアリングを踏まえて繰り再整理	
3 換気工せん断補強工法の適用																														新たに設定した基準地震動に対する評価反映
④ 論点「既工区との差異(機器・配管)」																														新たに設定した基準地震動に対する評価反映
1 原子炉本体の基礎の覆元力特性の変更																														健康との連携解析結果の反映
1	覆元力特性の算定	90%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	
2 使用評価試験ラックの減算定数の変更																														新たに設定した基準地震動に対する評価反映
1	機器・配管系設置に関するその他手法の相違点	100%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	
3 サプレッションチェン/内排水質量の考え方の変更																														重要案件を優先
1	原子炉建屋クレーンへの非線形時刻応答解析の適用	90%																											重要案件を優先	
2	原子炉建屋クレーンへの非線形時刻応答解析の適用	70%																											重要案件を優先	
3	燃料交換機への非線形時刻応答解析の適用	70%																											重要案件を優先	
4	海水ポンプ室門型クレーンへの非線形時刻応答解析の適用	80%																											重要案件を優先	
5	電機防護ネットへのごみ支架の適用	75%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	
6	立形パンプの解析モデルの精緻化	100%																											重要案件を優先	
7	最新短見として得られた減算定数の適用	90%																											重要案件を優先	
8	水平方向と鉛直方向の動的地震力の二乗和平方根(SRS)法による組合せ	90%																											重要案件を優先	
9	鉛直方向応答解析モデルの追加	90%																											重要案件を優先	
4 機器・配管系設置の既工区からの構造変更																														改造工事の最新状況反映
⑤ 地震の現状化																														改造工事の最新状況反映
1 地震の現状化																														関連:耐震さしき骨格補強ネット ヒアリングを踏まえて繰り再整理
1	現状化評価の基本方針	90%																											関連:耐震さしき骨格補強ネット ヒアリングを踏まえて繰り再整理	
2	現状化強度試験とその代表性評価	90%																											関連:耐震さしき骨格補強ネット ヒアリングを踏まえて繰り再整理	
3	現状化強度特性の設定とその保守性評価	90%																											関連:耐震さしき骨格補強ネット ヒアリングを踏まえて繰り再整理	
4	構造物評価(有効応力解析)	75%																											新たに設定した基準地震動に対する評価反映	

(防潮堤の評価結果は高津波設計方針-防潮堤の構造確立性で説明)

※1 実施中の評価、先行プラント審査の反映量に応じて設定

# 女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール(耐津波関係)

別紙2

平成30年4月17日  
東北電力株式会社

標準状況 (%) <sup>※1</sup>	平成29年												平成30年												備考															
	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月				6月			7月											
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9		16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23
耐津波設計方針(第5.40条)																																								
① 基準適合(共通)																																								
1. はじめに	90%																																							
II. 耐津波設計方針について																																								
1 基本事項																																								
1 津波防護対象の選定	90%																																							
2 敷地及び敷地周辺における地形及び施設の配置等	90%																																							
3 基準津波による敷地周辺の遡上・浸水域	70%																																							
4 入力津波の設定	70%																																							
5 水位変動・地盤変動の評価	90%																																							
6 設計または評価に用いる入力津波	70%																																							
2 設計基準対象施設の津波防護方針																																								
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																							
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)	80%																																							
3 雨水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)	80%																																							
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)	70%																																							
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																							
6 津波監視	95%																																							
7 津波影響軽減施設	70%																																							
3 重大事故等対応施設の津波防護方針																																								
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																							
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)	70%																																							
3 雨水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)	70%																																							
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)	70%																																							
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																							
6 津波監視	90%																																							
4 施設・設備の設計・評価の方針及び条件																																								
1 津波防護施設の設計	70%																																							
2 浸水防止設備の設計	80%																																							
3 津波監視設備の設計	95%																																							
4 施設・設備等の設計・評価に係る検討事項	80%																																							
② 論点「防潮堤の構造成立性」																																								
1 防潮堤の構造成立性																																								
1 設計方針	90%																																							
2 構造成立性	70%																																							
③ 論点「取放水路からの流入防止」																																								
1 取放水路からの流入防止																																								
1 設計方針	80%																																							
2 構造成立性	70%																																							

**【凡例】**

- : 審査会を実施中の項目
- : これまで審査会を実施していない項目
- : クリティカルパスとなる項目
- ☆ : 審査会希望時期
- ▼ : 追って資料提出時期

※1 実施中の評価、先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定